

建学の精神
彼我一体

報謝の至誠
文化の創造
世界観の確立



学校法人名古屋石田学園は令和3年に創立80周年を迎えます。

名古屋石田学園80周年記念 寄付のお願い





学校法人名古屋石田学園 創立80周年記念事業

寄付金募集趣意書

皆様にはご健勝にて、ご活躍のことと推察申し上げます。

日頃は何かと学園に対し、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。衷心より厚く御礼申し上げます。

本学園は創立者石田鑑徳先生の熱い情熱のもと、「彼我一体」の精神を教育理念とする「明德学館」を創立した昭和16年をその出発点としております。以来80年間、学園は逞しく成長を遂げてまいりました。終戦の混乱の中からいち早く昭和20年に「名古屋英学塾」、次いで昭和38年に「星城高等学校」、昭和46年に「星の城幼稚園」を設立しました。

昭和50年に創立者が急逝し、その後石田正城がその教育理念と学園を継承し、学園の発展のために情熱を傾注してまいりました。平成元年に「名古屋明德短期大学」を、平成5年に「星城中学校」を開校し、さらに事業と医療を通じて社会に貢献する人材の育成を目的とし、創立者の遺志であった「星城大学」を平成14年に開学しました。また関連して「専門学校星城大学リハビリテーション学院」を平成16年に、平成20年に星城大学大学院「健康支援学研究所」を設置し、総合学園としてゆるぎない基盤を築いてまいりました。80周年を迎えることができましたのも、ひとえに皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

学園創立80周年を期し、将来ビジョンを【信頼と信用の人財づくり学園】と掲げ、教育の質の向上を通して「星城なら」「名古屋石田学園なら」と皆様の信頼と信用を得るべく、未来のさらなる飛躍のための基盤構築に取り組んでまいります。

日頃、学園のために深いご理解とご協力を賜る皆様方に格別のご芳情をお寄せいただきたく、謹んでお願い申し上げます。

令和2年10月

学校法人名古屋石田学園
理事長 石田正城



学校法人名古屋石田学園創立80周年記念事業へのお願い

学園創立80周年、 新たな時代の「人財づくり学園」にむけて

平素より本学の教育にご支援、ご理解を頂き、御礼申し上げます。

本学園も皆様のご協力のもと、昭和16年の創立以来、80周年を迎えようとしています。星城大学につきましては、その前身である名古屋明德短期大学が平成元年に創立し、その後、4年生大学へと成長。近年では経営学部、リハビリテーション学部共に毎年、ほぼ定員を満了する大学となり、地域社会へ貢献できる人材の育成に邁進しています。今後、この80周年を機に新たな時代に挑戦する学園、大学を目指して一層の成長をして参ります。

日頃より本学をご支援頂いている皆様には、更なる学園の飛躍の為、格別のご芳情をお寄せ頂きたく、謹んでお願い申し上げます。

どうぞ、よろしくお願い致します。

星城大学 学 長
後 援 会 長
同 窓 会 長

1	寄付金募集の用途	Withコロナの時代の大学改革
	用途の主旨説明	新型コロナウイルスの感染拡大はいつに収束の目処は立たず、本学においては「教育の質」の保証、人材育成の為、オンライン講義を早期に開始。その実施の為に遠隔講義の環境構築を行い、各自宅での講義受講、そして入国できない、留学生における母国における受講も可能としました。また人材づくりの観点からこの仕組みを利用し、教職員による、講義以外のオリエンテーションや生活相談、キャリア相談の体制も構築して参ります。
	寄付金募集目標額	1,500万円
2	寄付金募集の用途	アクティブ・ラーニング(積極的・能動的な講義・学修)の環境整備
	用途の主旨説明	文部科学省が公示した「新しい学習指導要領」により、従来の「受動的な授業、学習」から「積極的、能動的な授業、学習」の実践に向けた具体的な手法のひとつとしてアクティブ・ラーニングが挙げられました。アクティブ・ラーニングとは、教員が学生に一方的に講義する形式ではなく、「学修者の積極的な講義参加を促す講義や学習法」の総称です。本学では未来を担う学生が自ら主導的に行動し、考え、学び、価値観を受容し尊重する姿勢の育成を目指します。その為、学修環境の整備を積極的に展開して参ります。
	寄付金募集目標額	1,000万円
3	寄付金募集の用途	多様な情報ソースを取り入れた講義を目指して
	用途の主旨説明	学園創立80周年事業として将来ビジョン「信頼と信用の人材づくり学園」を掲げ、教育の質の向上の為、学校設備基盤の充実に取り組んで参ります。新型コロナウイルス感染症収束後のAFTERコロナにおいて、従来の対面講義へそのまま戻るのではなく、整えた環境を更に将来のIT化に向け、Webからの情報収集、リアルとオンラインの特性を生かしたダイナミックな講義形態を目指します。その為にネットワークの強化を図り、情報環境基盤を構築、強固なセキュリティ体制のもと、更なる研究の充実、教育の充実を図って参ります。
	寄付金募集目標額	1,000万円
寄付金募集目標額		3,500万円



1 寄付金募集の用途及び寄付金募集目標額

1. Withコロナの時代の大学改革
: 寄付金募集目標額……………1,500万円
2. アクティブ・ラーニング(積極的・能動的な講義・学修)の環境整備
: 寄付金募集目標額……………1,000万円
3. 多様な情報ソースを取り入れた講義を目指して
: 寄付金募集目標額……………1,000万円
※寄付金募集目標額合計……………3,500万円

2 寄付お申込み期間

令和2年10月1日から令和5年3月31日まで

3 寄付金の種類

- 個人様……………1口1万円(なるべく2口以上のご協力をお願いいたします)
法人様……………1口5万円(なるべく複数口でのご協力をお願いいたします)
◆1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。

4 税制上の優遇措置

	<p>「所得控除」の制度により、寄付金額*が2千円を超える場合、その超えた金額は当該年の所得から控除されます。*年間総所得金額の40%が上限</p>										
個人様	<table border="1"><tr><td>《参考》 寄付金額 5万円</td><td>寄付金額 5万円 - 限度額 2千円</td><td>所得控除額</td><td>× 所得税率 20%</td><td>= 減税額 9,600円</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">所得控除額</td><td colspan="2">所得金額に応じ、5%~45%の所得税率を乗算 (例:年間所得金額500万円→所得税率20%)</td></tr></table> <p>確定申告時、本学園発行の「寄付金受領書」「特定公益増進法人証明書」を添付し、所轄の税務署に申告してください。</p>	《参考》 寄付金額 5万円	寄付金額 5万円 - 限度額 2千円	所得控除額	× 所得税率 20%	= 減税額 9,600円		所得控除額		所得金額に応じ、5%~45%の所得税率を乗算 (例:年間所得金額500万円→所得税率20%)	
《参考》 寄付金額 5万円	寄付金額 5万円 - 限度額 2千円	所得控除額	× 所得税率 20%	= 減税額 9,600円							
	所得控除額		所得金額に応じ、5%~45%の所得税率を乗算 (例:年間所得金額500万円→所得税率20%)								
法人様	<p>「受配者指定寄付金」の制度により、寄付金の全額をご寄付いただいた事業年度の損金に算入できます。</p> <p>日本私立学校振興・共済事業団発行の「寄付金受領書」を本学園経由にてお送りしますので、決算の法人税申告時に添付し申告してください。</p>										

5 お申込み方法

◎書面によるお申込み

別紙寄付申込用紙にご記入の上、同封の封筒にてお申し込みください。
お支払いの際は、三菱UFJ銀行又はその他の金融機関にてお手続きください。
(同封の振込用紙にて三菱UFJ銀行の本・支店をご利用いただけますと振込手数料は無料です)

◎Webによるお申込み(個人のみ)

本学園ウェブサイトよりお申し込みください。
Webによるお申込をご利用いただけますと、金融機関へお越しいただくこと無く、Web上でお支払いが可能です。



(Webサイト)

お申込み方法の詳細につきましては、学校法人名古屋石田学園ウェブサイトトップページ(<http://www.n-ishida.ac.jp/>)「寄付協力のお願い」をご参照ください。

※当寄付金は、あくまで任意でお願いしているものです。なお、名古屋石田学園各校への入学願書受付開始日から入学までの期間については、ご本人様および保護者様からのご寄付はご遠慮いただいております。何卒ご了承ください。

6 個人情報保護について

寄付のお申込みに際してご記入いただいた情報に関しては、寄付者顕彰、芳名録の作成、寄付金管理や事務上の連絡以外に使用いたしません。

ご連絡・お問い合わせ先

学校法人名古屋石田学園 法人本部事務局

〒476-8588 東海市富貴ノ台二丁目172番地 電話:(052)689-6002 FAX:(052)689-6003